

2026 熊日トーナメント

選手権の部 県南予選

開催日：2026年 3月 4日 水曜日
開催コース：熊本ゴルフ倶楽部 城南コース

本大会は、日本ゴルフ協会ゴルフ規則(2023年1月施行)とこの競技条件・ローカルルールを適用する。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄においてこの委員会の裁定は最終である。

2. 本競技は、すべての結果がスコアボードや掲示板に掲示された時点を持って終了する。

ローカル・ルール

- アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を表示する。
- ペナルティエリアは赤杭又は赤線をもってその限界を標示する。
線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 排水溝は動かさない障害物とする。
- 電磁誘導カートの2本の人工表面を持つ軌道は、全幅を持ってカート道路とみなす。球がこのカート道路上にある場合、競技者は規則16-1bの救済を受けなければならない。
また、スタンスがかかる場合も同様とする。
このローカルルールの違反の罰は2打。
- インコース11番・13番ホールのレッドペナルティエリア内に於いて
初めの球がレッドペナルティエリア内で紛失したことの合理的な証拠があり、その球がレッドペナルティエリア内にあるかどうかを確認することが不可能な場合、規則17-1に基づきプレーすることが出来る。又は追加の選択肢として、元の球か別の球をドロップゾーンにドロップするが出来る。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝はその道路の一部とみなす。
- 2番ホールにおいて、プレーヤーの球がインバウンズの送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。そのプレーヤーは規則14-6にしたがって直前のストロークを行った場所から罰なしに球をプレーしなければならない。
- 使用クラブの規格 適合ドライバーヘッドリスト(セクション8 ローカルルールひな型G-1)を適用。
- 使用球の規格 公認球リスト(セクション8 ローカルルールひな型G-3)を適用。
- ホールとホールの間での練習禁止 (セクション8 ローカルルールひな型I-2)を適用。
ハーフターン待ち時間の練習は「指定練習グリーン」のみとする。

13. プレーの中断と再開

- プレーの中断については、ゴルフ規則5.7(2)に従って処置すること。
- 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが一時中止になった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。その後委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったことが正当化する事情がなければその競技者は競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格(ゴルフ規則5.7(1)Ⅲ)

14. 移動 競技者は正規のラウンド中、乗用カートに乗車・運転することが出来る。

15. タイの順位決定

同スコアタイが生じた場合、インコースのマッチングスコアカード方式により順位を決定する。

16. 荒天や日没等により、競技委員会の判断で、短縮して競技が成立する場合がある。

注意事項

- 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
- プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。
なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティを課すことがある。
- スタートの呼び出しは一切行わないので、スタート時間5分前までにはスターティングホールのティーイングエリア付近に待機すること。
- コース内に携帯電話の持ち込みは認めるが、緊急の場合以外の使用を禁止する。
- 距離計測器の使用は認めるが、風速、勾配など2点間の距離以外の機能は使用できない。
- 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場に於いては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は、1人24球とする。